



石狩市公立小中学校事務職員学校間連携会議

第98回(今年度第2回) 2019年6月13日(木)14:00～ 於:市庁舎402会議室



1 議長挨拶

2 経過報告 (参加者については敬称略)

5月10日 第97回連携会議

5月13日 ワイヤレスマイクに関する緊急調査

5月17日 石事協役員・研究推進委員:合同研修会(村井・細川出席 ※石事協役員小村)

5月28日 予算要望G会議(議案検討等)

6月10日 予算要望に関わる打ち合わせ(村井、教頭会担当者)

6月11日 推進研修委員会(細川)

3 協議題1 2019年度各グループの活動計画について → P2～

第97回会議等にて、各グループで年間活動計画について協議しています。

本日の会議で発表し全体で確認します。(①予算要望P2～ ②調査研修P4 ③研究P5～ の順番です)

4 協議題2「令和2年度 石狩市教育予算要望書」に向けた具体的作業について → P7～ + 別紙1・2 (提案 予算要望G担当)

5 協議題3 研修G「保護者負担の公費化項目の調査」について P11+別紙3

6 実践交流<協議題3>

①決算報告の方法 ②次年度への引継ぎ項目を作っているかその内容、決算期から次年度の財政財務活動に向けたとりくみの交流に、調査を行います。

P11+別紙4 エクセル様式参照

7 連絡事項

① 市内基礎データ集約状況について 別紙5 エクセル様式参照

② 今後の事務局調査の予定について

i PFシートを用いた保護者負担調査について(7月提案)

昨年まで2回調査を行ってみました。今年度も調査を行います。自分の学校の傾向、市内の傾向等を探ること、市内の予算要望の資料として出すことは可能かどうかを検討していきたい。(※次年度以降の調査結果の活用方法(廃止も含め)を検討)次回会議にて詳しく説明をします。

ii 学校事務業務実態調査について(11月提案予定)

市内事務職員の皆さんに、日頃の仕事の状況と自分の考える仕事の範囲について調査を行うとともに、今後の「標準職務」や働き方について意見交流を行っていきたい。(ズーっと前に調査したことがあるようです。参考にしながらすすめていきます)

<協議題I> 2019年度各グループの活動計画について

令和元年度 予算要望 G 活動計画(案)

三浦(樽川中) 村井(石狩中) 神尾(花川南小) 紙谷(花川小) 沼田(双葉小)
小野(南線小) 八幡小(小村) 幕田(花川北中) 後藤(浜益中)

1. 活動方針

- (1) 教育施設・設備と教育費の保護者負担軽減を求め、諸活動を推進する。
- (2) より確かな予算要望資料作成のため、日常実践を通して資料の収集と分析を行い、説得力のある要望書づくりと予算獲得に努める。
- (3) 予算要望活動を学校間連携のとりくみとして推進する。

2. 活動計画

- (1) 予算要望書の効率的及び効果的な資料作成のための企画立案
- (2) 要望資料作成にあたり、成果や課題を踏まえ、各校の実態交流を通して、より説得力のある資料づくりを進める。
- (3) 学校間連携による(実態)の調査により、年間を通した活動を推進する。
- (4) 予算要望書作成に関わる事務職員部会としての資料作り…これが一番大事な活動です。**

すぐには成果が出なくても、継続することで実現している項目もたくさんあります。

また一層の改善のために今後も継続や、新たな課題についても調査を行い、働きかけていくことも大事なことです。今年度は継続項目も含め以下のとおり調査・資料作りを進めていきます。

① 市経理消耗品費配分額における印刷関連経費の割合

各学校では、定額制プリンタの導入や用紙のコスト削減など、印刷費を抑える努力を行っています。

しかしながら、以前厳しい状況にあることを理解してもらう必要があります。現在は学校配分予算の配分調整を行うことができるようになってはいますが、このことは、根本的な解決(予算の増額)にはなっていないと考えるため、継続します。

② 保護者負担公費化のための要望(各教科実験材料費負担調査)

実際保護者がどれだけ私費負担をしているか把握できる資料のため、継続して調査を行い要望書に盛り込みます。

今年度は、前年度の反省を受け、「幹旋教材」として小学校の「鍵盤ハーモニカ」「ソプラノリコーダー」「裁縫道具セット」「絵具セット」「彫刻刀」「習字セット」「道具箱」を入れます。

こちらは、お下がりも考えられるものですが、実際には、ほぼ全員購入していると考えられるため、調査します。

③ スキー学習バス代保護者負担調査

近年のバス代高騰により保護者負担が増加していることから、平成28年より調査を行い、要望書に盛り込んでいます。

その結果、小学校への補助額増、中学校実施校への補助など成果のでている項目です。

この項目もさらに改善がはかられるよう、継続して調査を行う必要があります。

④ 中学校吹奏楽に関わる経費

この要望も継続して取り組んできた結果、継続した予算配分がなされるようになりました。

この配分が継続され、さらに、現有額 10%の修繕費が配分されるよう、引き続き調査を行い、要望する必要があります。また、樽川中石狩太鼓部についても予算配分されるよう継続します。

⑤ 学校図書館整備に係る消耗品などの必要経費調査

継続して取り組んできた結果、小学校への司書配置に始まり必要経費の予算配分、昨年度から中学校の巡回という形で司書の配置や、必要経費の予算配分など成果のみられる項目のひとつです。

しかし、さらなる改善をはかるため、今後も継続して調査を行う必要があります。

⑥ 小学校英語教科化に伴う経費

昨年に引き続き小学校での外国語科目の教科化に伴い、その必要経費（消耗品費や教材備品費など）の実態を把握し、資料化することで予算措置を働きかけていきます。

⑦ 学習指導要領全面改訂に伴う教科書採択に関わる必要経費調査

小学校では令和 2 年度、中学校では令和 3 年度に学習指導要領の全面改訂に伴う教科書採択に関わり、必要経費の実態を把握し、消耗品費の増額のみでは購入することが難しい、必要な物品・備品の購入・整備ができるよう要望します。

⑧ 児童生徒一人当たりの配分予算の推移

今年度予算で、増税分の消耗品費が増額されました。しかし、この調査の本来の目的は、保護者の私費負担軽減のための学校予算のさらなる増額です。ここ数年の全体、及び小学校・中学校の単価の推移を把握することにより、要望の資料とします。

【確認】事務職員部会としての重点要望(8・9・10)について

第1回予算要望部会で確認したものをメールにて全会員に配布、確認してもらっています。この場でこれよりいか確認します。

よしとなれば、第1回予算要望委員会へ提出します。その場で各団体から出てくる重点要望とともに確認します。

3. 年間活動計画(予算要望委員会に関わっても記載しています。)

5月28日(第1回予算要望部会) ☞ 各調査内容等の確認・検討・日程の確認

6月13日(第98回連携会議) 本日 重点要望、調査の具体的な内容の決定

6月14日～6月25日 調査期間(各校にデータ配布、各校で調査、記入し樽川中三浦へ)

7月1日～7月8日 調査結果集約・要望の趣旨の内容の検討(予算要望グループ各担当者)

7月2日	第1回教育予算要望委員会
7月9日~7月12日	予算要望書内容検討(予算要望グループ内)
7月16日~7月19日	予算要望内容(案)完成作業
7月22日~7月26日	連携会議・協議会事務局との確認
7月29日以降	予算要望内容(案)全会員へメールで送付
8月上旬?夏季研修会	予算要望書内容(案)検討
8月22日	学校ランキング表提出メ切(営繕、高額備品関係)
9月2日(第100回連携会議)	予算要望書最終確認
9月上旬	予算要望書資料予算要望委員会へ提出
9月12日	第2回予算要望委員会
10月上旬~中旬	各学校施設・設備調査(市教委)
10月中旬	各団体からの要望提出(市教委)
10月下旬~11月中旬	各団体からの要望の調整(市教委)
11月下旬	教育予算要望書提出(予算要望委員会事務局)
12月上旬	「令和2年度石狩市教育予算要望書」の各学校配布
令和2年2月20日	第104回連携会議 年度反省検討
令和2年2月25日	第3回予算要望委員会(予算要望書の回答)
令和2年3月下旬	予算要望書の回答の各学校配布

令和元年度 調査研修 G 活動計画(案)

1 所属メンバー

- ★就学援助担当：小谷(花川中)、山寄(花川小)、鎌田(緑苑台小)
- ★備品関係担当：中川(厚田中)、中野(生振小)、鎌田(緑苑台小)
- ★視察研修・出前講座担当：森(南線小)、榎本(石狩小)、宮前(紅南小)、鎌田(緑苑台小)

2 活動方針

- (1) 業務の効率・迅速・正確・簡素化を図るため、学校事務の実態調査を行い、改善方法について検討・提案する。
- (2) 研究課題の解決や研鑽を深めるため、視察研修を企画・推進する。

3 活動計画

- (1) 学校事務の改善について

- ①事務職員が関わっている業務について、調査・資料化をする。
- ②備品台帳の維持管理、その他備品関係等にかかわって教育委員会との調整を行い、検討・改善を図る。
- ③就学援助事務の手引きに改善の必要がある場合は、改善に向けて検討を図り、教育委員会との調整を行う。また、変更が生じた場合は、手引きの変更を行う。
- ④上記作業等については、協議会、連携会議事務局と十分に連携を取り、学校間連携会議 HP の手引のページについて様式の掲載等の充実を図る。

(2) 視察研修等について

- ①他支部交流、出前講座については、調査研修グループで内容を検討し提案する。
実施後、報告を行い会員に研修成果の還元に努める。

令和元年度 研究 G 活動計画(案)

I 構成員

構成	氏名	所属	備考
研究グループ代表	富永有斗理	厚田小学校	研究課題解決
研究推進委員	細川 貴史	聚富小中学校	市町村代表
	小板橋 悟	花川南小学校	
	田中 豪	浜益小学校	
連携事務局所管	斎藤 大輔	花川南中学校	助言
	高松 健輔	花川中学校	

※「夏季研修会」「冬季研修会」については、複数でとりくむ予定です。

2 今年度研究課題

子どもの学習権を保障する創造的学校事務の展開
～「学校間連携」のとりくみをとおして～

3 活動方針・計画

- (1) 学校事務職員としての専門性を生かしたとりくみ
- ①今年度石事協研究主題「保護者負担の公費化」に向けたとりくみ
各校の公費から支出している教材・消耗品などを調査し、リストを作成する
 - ②財政基盤強化に向けた「石狩市予算要望委員会」との連携強化のとりくみ
 - ③学校間連携事業における日常実践での交流と課題解決に向けたとりくみ
 - ④夏季・冬季研修会での事務職員課題に関する課題解決に向けた協議
 - ⑤その他協議事項

(2) 継続課題

- ①各学校の予算書の交流
- ②石教研第2次研究協議会・管内研修会への積極的参加の呼びかけ
- ③協議会・学校間連携事務局との協力協働体制を図る
- ④各種レポート作成体制

4 重点課題

- (1) 「石狩市予算要望委員会」とのさらなる連携（予算要望Gと連携）
- (2) 提言をさらに生かすための組織的運用（石狩市予算要望書）
- (3) 「学校事務の専門性」のとりえ返し
(学校経営参画（学校運営計画の変更例など）、共同学校事務室について考える、など)

5 石教研第2次研究協議会に向けて

- (1) レポート構成（案） 基本的には昨年度と同様の骨子にする
- ①組織構成
 - ②研究主題
 - ③過去の活動内容
 - ④1年間のとりくみ ※昨年度レポート作成後について
 - ア 予算要望委員会へのアプローチ（保護者負担公費化に向けた第一歩）
 - イ 災害に関わる情報交流
 - ウ 実践交流（予算編成の提案及び関連する事務運営計画、保護者向け・教職員向け事務だより）
 - エ 市教委棚文書の配送状況調査結果について…提言とのかかわり
 - オ 今後の学校事務職員の働き方について（冬季研修会で交流）
 - カ その他
 - ⑤学校間連携会議の成果と課題

(2) 第2次研究協議会レポート作成までの日程については下記の年間活動計画日程を参照

6 年間活動計画日程

日程	内容	備考
4月16日（火）	石教研第1次研究協議会・第1回推進委員研修会	新年度概要
4月19日（金）	石教振第1次研究協議会・第1回定例研修会	

5月10日(金)	第2回定例研修会	
5月17日(金) 5月?日(?)	第2回推進委員研修会・合同研修会 石教振推進委員・会計担当者会議	今年度研修計画 計画 会計案
6月11日(火) 6月13日(木)	第3回推進委員研修会 第3回定例研修会	
7月5日(金) 7月?日(?)	第4回定例研修会 夏季研修会	レポート骨子
8月中旬 8月20日(火)	第2次研究協議会レポート作成 第4回推進委員研修会	
9月2日(月) 9月2日(月) 9月19(木)～ 20日(金) 9月27日(金) 9月30日(月)	石教振第2次研究協議会・第5回定例研修会 石教研用レポート原案検討 全道事務職員研究大会(上川大会) 第6回定例研修会 第2次研究協議会用レポート印刷 丁合	第2次研究協議会用 研究会 第2次研究協議会レポ ート 管内研レポート 丁合 配布
10月1日(火) 10月15日(火) 10月18日(金) 10月25日(金)	第5回推進委員研修会 石教研第2次研究協議会司会・記録者会議 石教研第2次研究協議会 第7回定例研修会	レポート提出
11月8日(金)	管内事務職員研修会	研究G発表
12月6日(金) 12月6日(金) 12月?日(?)	第6回推進委員研修会 第8回定例研修会 冬季研修会	
2月7日(金) 2月13日(木) 2月20日(木)	石教振第3次研究協議会・第9回定例研修会 第7回推進委員研修会 第10回定例研修会	年度反省検討
3月6日(金)	第11回定例研修会	

<協議題2>「令和2年度 石狩市教育予算要望書」に向けた具体的作業について

1. 予算要望委員会に対しての事務職員部会としての取り組みの確認

「予算要望委員会としての重点要望(共通要望)事項」のうち、「事務職員部会としての重点要望」(それぞれ別紙参照)について、予算要望グループの第1回予算要望部会での検討、その後、メールにて会員のみなさんへ配布し、ご意見をお聞きしました。別紙にて確認をお願いします。
それを受けて、今後の予算要望委員会に対しての取り組みを進めていきます。

2. 事務職員部会としての要望に係る資料作り

5月28日に行われた第1回予算要望部会にて具体的取り組み内容を作成しました。
ご確認をお願いします。

(1) 予算要望書作成に向けた作業日程について

第1回予算要望部会(調査内容の審議)	5月28日(木)
具体的調査内容の確認・決定	6月13日(木) 本日
調査期間(各校にて)	6月14日～6月25日
(第1回予算要望員会)	7月2日
調査結果集約(予算要望グループ内)	7月1日～7月8日
予算要望書内容検討(全館員で)	夏季研修会
(「学校ランキング表」提出)	8月22日
提出資料の最終確認	9月2日(第100回連携会議)
予算要望委員会への提出	9月3日
(第2回予算要望委員会)	9月12日

(2) 具体的調査内容と提出について

データをエクセルのブックにて配布します。そちらに入力し、6月25日(火)までに樽川中 三浦へメールにて送信してください。(調査用紙のデータは明日メールにて配布します。)

なお、各項目の調査目的は「活動計画」を参照してください。

特に指定のない場合は、平成30年度の実績で入力してください。

① 市経理消耗品費配分額における印刷関連経費の割合

以下の項目についてH30年度分を入力してください。

学校配当消耗品費	プリンターインク・トナー使用料
レンタルプリンタ年間利用料	印刷機インク・マスター
コピー機使用(カウンター)料	用紙代
消耗品費配分額に対する割合	

② 保護者負担公費化のための要望(各教科実験材料費負担調査)

児童生徒数は幹旋教材にも入れてください。

作成例を参考に、回答シートへ入力してください。

小学校・・・	テスト(各教科)	ワーク・ドリル(各教科)	資料(社会)
	実験実習費(各教科)	学級活動用(学活)	幹旋教材 その他
中学校・・・	学力テスト	ワーク・副読本(各教科)	実験実習費(理科)
	他の教科(各教科実習費)		

③ スキー学習バス代保護者負担調査

スキー学習トータルのバス代	バス代の補助金総額
バス代の私費負担総額	バス代の一人あたり私費負担額
※スキー学習全体のバス代総額については、 <u>過去3年分(H28～30)</u> について回答してください。	

④ 中学校吹奏楽に関わる要望(楽器整備5カ年計画)

楽器購入5カ年計画(令和2年度~6年度) → 年度 楽器名 数量 金額 楽器現有金額
※ 別シート「楽器整備5カ年計画」の自校部分のみ修正し、送ってください。樽川中の和太鼓についてもこちらに記載してください。

⑤ 学校図書館整備に係る消耗品などの必要経費

必要に応じて、担当の先生に確認してください。
学校図書館に係る消耗品の経費の合計とそれぞれの内訳(内容)
※ 蔵書の増加に伴い、書架が不足している場合は合わせて記載してください。
前年度に引き続き、中学校の巡回図書館司書について、回数増や常駐の希望があれば、回答してください。

⑥ 小学校英語教科化に伴う経費(小学校)

必要な消耗品・備品について、それぞれ品名・金額を学年ごとに記入してください。
上記以外(施設設備等)で必要なものがあれば記述してください。
※ 回答に際しては、具体的に「このような授業をするので、このような物品(備品)がほしい」という内容で記載してください。
教科の内容になりますので、必要に応じて、先生に確認してください。

⑦ 学習指導要領全面改訂に伴う教科書採択に関わる必要経費調査

調査内容
教科書採択に伴う消耗品費増額予算とは別に、全面改訂に伴う整備に必要な物品・備品を記述してください。デジタル教科書等が想定されます。
※ 回答に際しては、各教科に関わってくるので、先生への聞き取りもお願いします。

⑧ 石狩市児童生徒一人あたりの配分予算の推移、比較

※ 担当にて作成しますので、各学校から回答の必要はありません。

(3) 調査用紙について 別紙のとおり

(4) 各調査の担当者について

- ・印刷費関連経費調査(花川南小 神尾さん)
- ・各教科実験材料費保護者負担調査(小学校→八幡小 小村さん 中学校→花川北中 幕田さん)
- ・スキー学習バス代調査(花川小 紙谷さん)
- ・中学校吹奏楽に関わる経費調査(浜益中 後藤さん)
- ・学校図書館必要経費調査(双葉小 沼田さん)
- ・外国語必要経費調査(南線小 小野さん)
- ・学習指導要領改訂必要経費調査(樽川中 三浦)
- ・学校配分予算推移調査(石狩中 村井さん)

令和2年度 教育予算要望

『重点要望事項』

7. 学力テストや教材購入等、保護者の私費負担軽減のための予算措置

各小学校では、長期休業中に補助教材として夏冬休み帳などを作成し、「学力向上」「自ら学ぶ姿勢の醸成」を行っています。

しかし、学校で作成する場合に、著作権法の関係から教材（課題）の選定にとっても苦慮し、膨大な時間と負担を強いられているのが現状です。そのため、民間業者の教材を購入する以外に方法はなく、保護者の私費負担がとて大きくなっています。以上のことから、教材関係機関からの教材（課題）の提供や作成、もしくは購入についての公費負担に対する予算措置を要望いたします。

各中学校では、北海道教育文化協会で作成・販売する学力テストを保護者の私費負担で購入し、授業の中で実施しています。「学力向上」はもちろんのこと、「進路選択」のための指標として、各学校により回数は異なりますが必ず実施せざる得ない状況であり、保護者の私費負担も大きなものとなっています。「学力向上」や「進路選択」のうえでもとても重要な取り組みとなっていることから、最低1回分の公費化を要望いたします。

8. 「学校における働き方改革」推進のために

現在、市内ほとんどの学校で、校舎内のポリッシャーやワックスがけについては、長期休業等を利用して学校職員で行っているのが現状です。「働き方改革」に関する通知でも触れられていますが、これは教職員の業務ではないとされています。また、この業務のために本来すべき業務が滞っている現状があることから、ワックスがけのための予算の弾力的運用・活用（非常勤職員採用の予算増額も含む）をすすめる予算措置を要望します。

9. 教育委員会・学校間の文書送達について

現在、学校現場では業務の多忙・多様化における業務の改善を含めた、働き方改革が求められています。

石狩市では、教育委員会・学校間の文書送達に関して、**現在、教職員が送達業務を行っている学校も多数あり、このことが本来の業務を圧迫している現実もあります。**

また、「学校職員の安全管理」の問題や「私用車を使用し、必要経費等の確保が保証されていない」等の問題が解決されないままとなっています。

そこで、この問題を**早急に**解決するための予算措置をお願いいたします。

なお、参考として、以下の5点の解決方法を提示いたします。

1. 公務補による文書送達
2. 給食配送車による文書送達（業務委託）
3. 図書館配送車による文書送達（業務委託）
4. 宅配業者による文書送達
5. 郵券（通信運搬費）の増額

10. 電波法関連法令改正によるワイヤレスマイクの更新について

電波法関連法令である無線設備規制の改正により、旧規格の特定小電力無線機器が2022年11月30日をもって使用できなくなります。これは、各学校で学校運営に幅広く使われているワイヤレスマイクも対象となります。もし、期限以降旧規格の機器を使用した場合は、電波法違反となるため、新規格への買い替えが必要となります。

市内各学校の状況を調査した結果、全く使用できなくなる学校が5校、50パーセント以上使用できなくなる学校が10校と、市内ほとんどの学校で旧規格のワイヤレスマイクを所持しています。緊急を要する案件ですが、配分されている予算では対応がむずかしい学校もありますので、予算措置をお願いします。

<協議題3> 研修G 保護者負担の公費化にかかわる調査について 別紙3

今年度の石事協研究主題は「保護者負担の公費化」に向けたとりくみです。石狩市では過去に「保護者負担公費化とりくみアンケート」や「学校備え付け教材調査」を実施し、冬季研修会で交流したことがあったようです。改めて研修Gでは、公費化の全市的な状況を把握したいと考え、石狩市立小中学校の公費で支出している教材・消耗品などを調査したいと思います。

締切は6月26日(水) 提出先は厚田小富永まで

<協議題4> 事務局 実践交流について

いつもは各学校の実践を発表していただいています。今年度は趣向を変えて、統一テーマを持ってどのような取り組みを行っているか調査をしてからの交流を行いたいと考えます。

調査内容は以下の通りです。

①決算報告の方法 ②次年度への引継ぎ項目を作っているかとその内容 ③決算や次年度の執行計画に向けたとりくみで気になる事(別紙3 エクセル様式参照)

事務職員は、仕事のスパンをどのように考えているでしょうか?目の前の仕事をこなすこと、1か月後の予定を見ながら物事をすすめること、自分が異動した後も続いていくであろうことを見通しているはずです。いろんな学校の特殊事情もあるかと思いますが、今までの経験や他市町村の状況を含め、皆さんで交流したいのが、今回調査の主旨となります。

締切は7月4日(木)まで 提出先は後日